

平成 27 年 2 月 23 日

山形大学医学部付属病院で放射線治療をお受けになった患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 結腸がんおよび直腸がん由来の肺 oligometastases に対する体幹部定位放射線治療に関する多施設調査研究

〔研究機関〕 山形大学医学部付属病院 放射線治療科

〔研究責任者〕 根本 建二（放射線治療科）

〔研究の目的〕

本研究の目的は、大腸がんの治療中に出現した少数肺転移 (oligometastases) に対する体幹部定位放射線治療の効果および安全性について多施設共同で後方視的に検討を行うことです。

結腸がん/直腸がんについては再発後の化学療法が発達し生命予後の延長が見られております。また、転移に対して可能な限り切除していくことで生命予後の延長が見込めることが報告されています。そのため合併症などの理由で切除不能である場合、肺転移や肝転移について定位放射線治療を実施する施設が増えてきています。しかし、原発性非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療の成績に比べ、転移性肺癌は局所制御率においても悪い傾向にあることが言われています。更には同じ転移であっても、結腸や直腸由来の転移性肺腫瘍は特に悪い傾向にあることが報告されていますが、少数の症例に対する検討であり、十分な検討は行われておりません。このことからより多数の症例で本研究を行い、本邦における結腸がんおよび直腸がん由来の肺 oligometastases に対する体幹部定位放射線治療成績および毒性について評価を行います。

本研究は東北大学が総括施設である多施設共同研究であり、山形大学は研究分担施設として参加しています。

[研究の対象]

山形大学医学部附属病院で結腸がんあるいは直腸がん由来の少数肺転移(oligometastases)に対し、2004～2013年に体幹部定位放射線治療が実施された患者さんを対象といたします。

利用する情報カルテ情報は、年齢、性別、病気、その進展程度、行われた放射線治療とその効果、併用された治療、副作用、予後に関する情報となります。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

〒990-9585 山形市飯田西2丁目2番2号  
山形大学医学部放射線腫瘍学講座 根本建二  
TEL 023-628-5386 FAX 023-628-5389